



平成 29 年 5 月 29 日

【照会先】

大阪労働局労働基準部安全課

代表電話 06-6949-6496



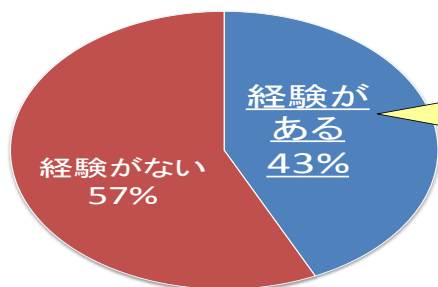
報道関係者 各位

建設業の死亡災害が急増！

5月20日現在7人に！（前年同期の2.3倍）

元請・下請間のコミュニケーション不足が要因の一つ！！

下請の意見として過去5年間に元請とのコミュニケーションが不足していると感じた経験を有する割合



4割超の事業場が元請とのコミュニケーション不足を感じた経験を有する

n = 456
(元請のみの事業場及び元請の割合が不明な事業場を除き、有効回答を集計)

調査結果から

大阪労働局（局長 苧谷 秀信）は、重層請負で構成される建設業の工事現場にあって元請と下請（関係請負人）との良好な信頼関係が安全に工事をすすめる鍵であるとして、大阪府内の建設事業者 1, 029 事業場へ無記名回答によるアンケート調査を実施し、578 事業場から回答を得た。

元請は

調査結果では、下請に苦勞した具体例に「安全関係書類の不備や提出しない」「保護具を着用しない」「ルールを守らない・作業手順を勝手に変更する」などを挙げた。

（別添参照）

一方、下請は

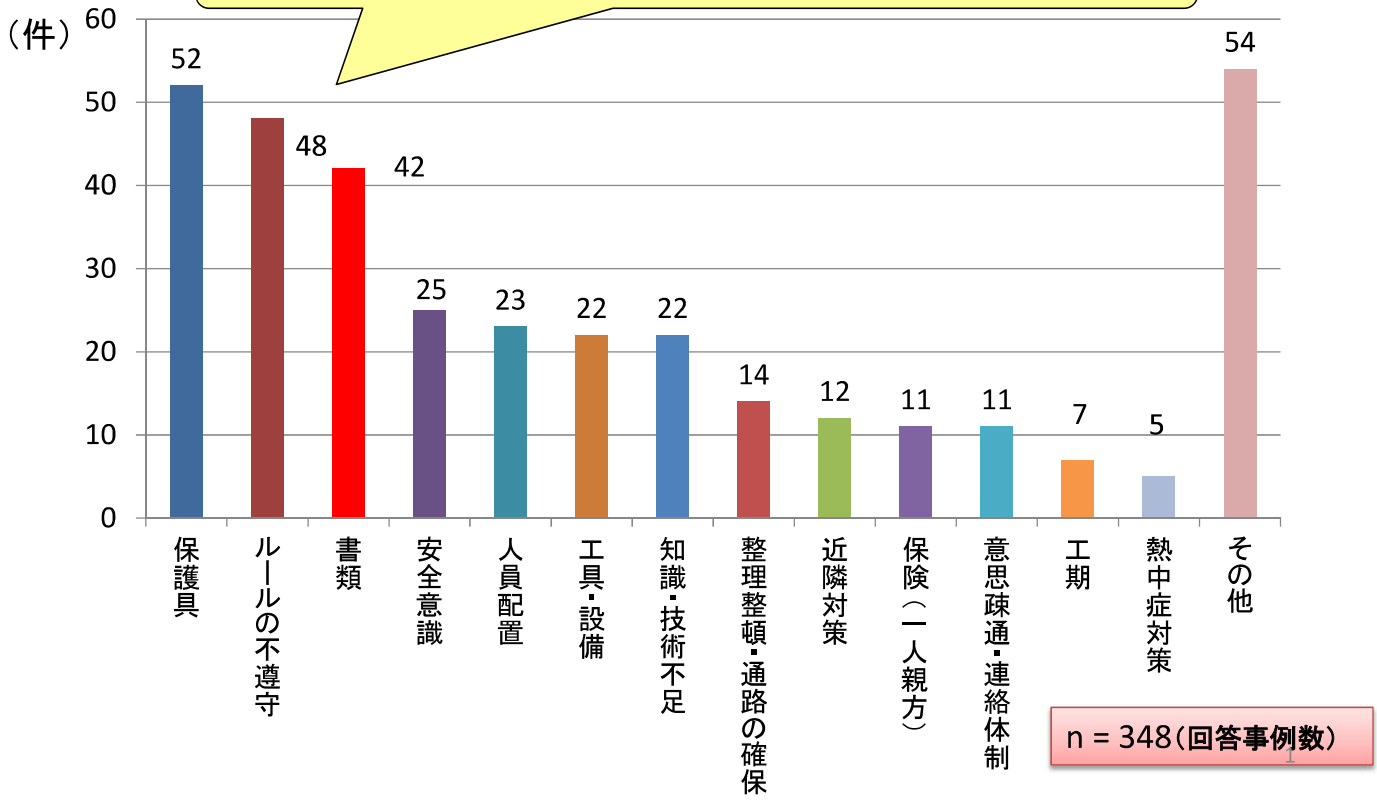
元請の安全衛生管理が不十分とした具体例に「下請任せで現場に出てこない」「手すりなど安全設備が不備である」などの問題点を挙げた。

（別添参照）

これらの問題にはコミュニケーションを取ることなく、お互いの情報共有のないままに工事が進められ、事故、災害を誘発させている可能性が考えられる。

苦労した具体例

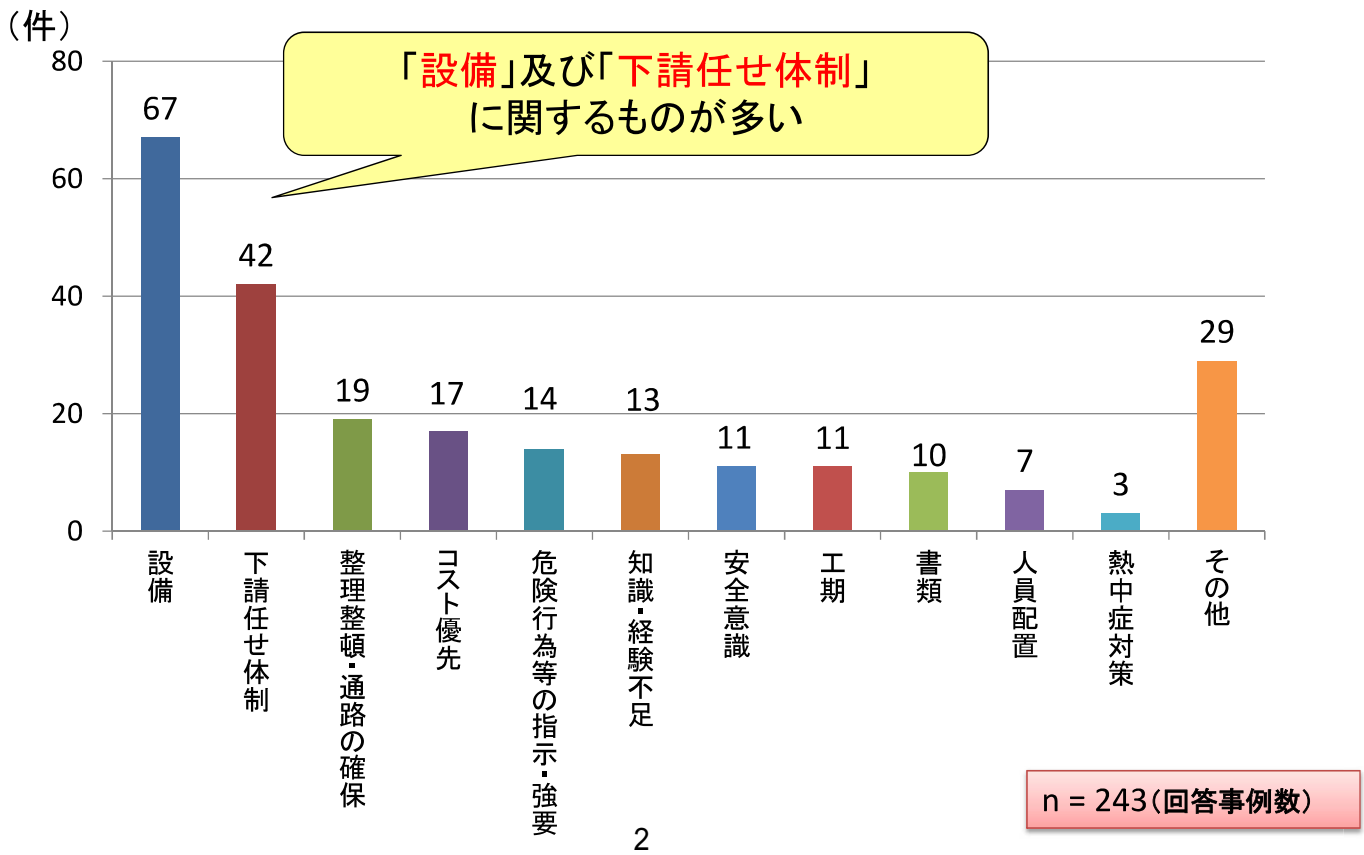
「保護具」「ルールの不遵守」「書類」関係が多い



下請として元請の安全衛生管理が不十分だと感じた経験

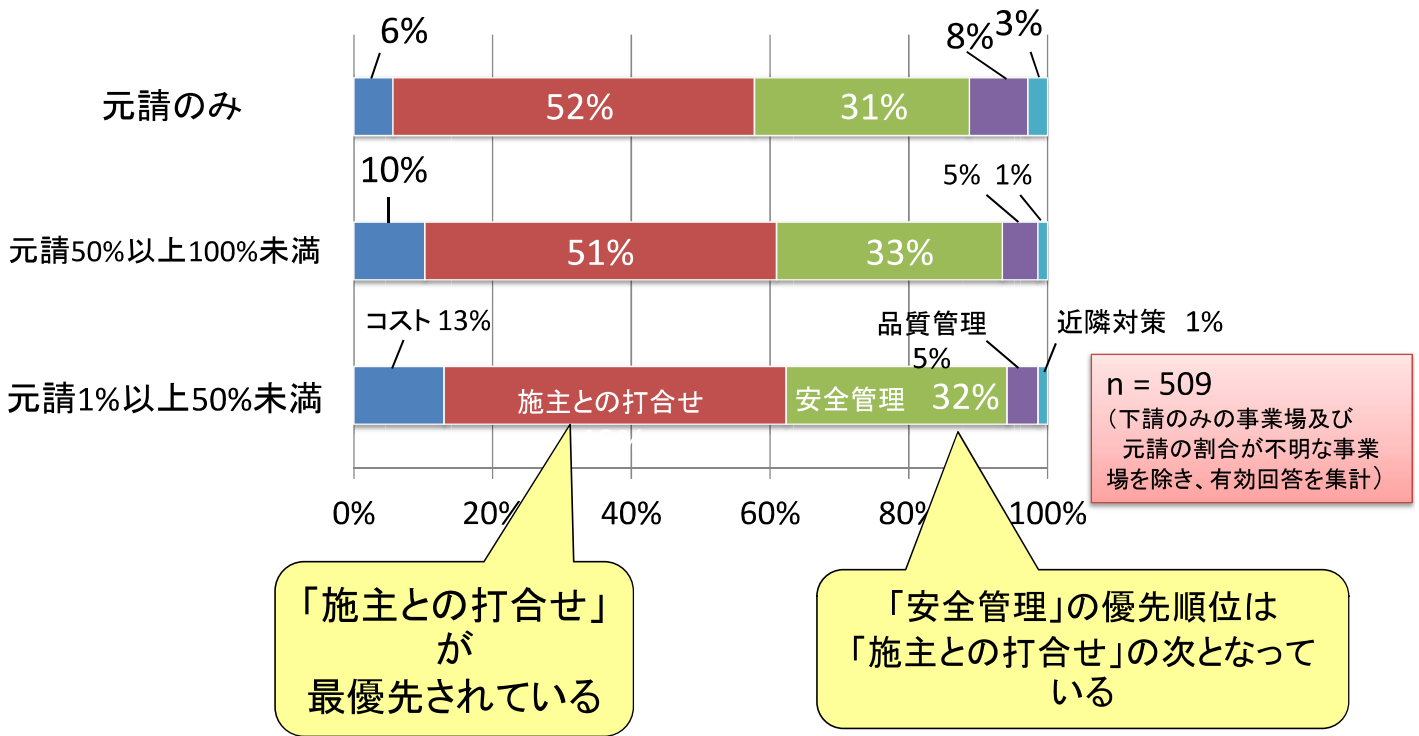
不十分だと感じた要因

「設備」及び「下請任せ体制」に関するものが多い



「コスト」、「施主との打合せ」、「安全管理」、「品質管理」、「近隣対策」の5つについて、**元請として**施工した場合の優先順位を回答

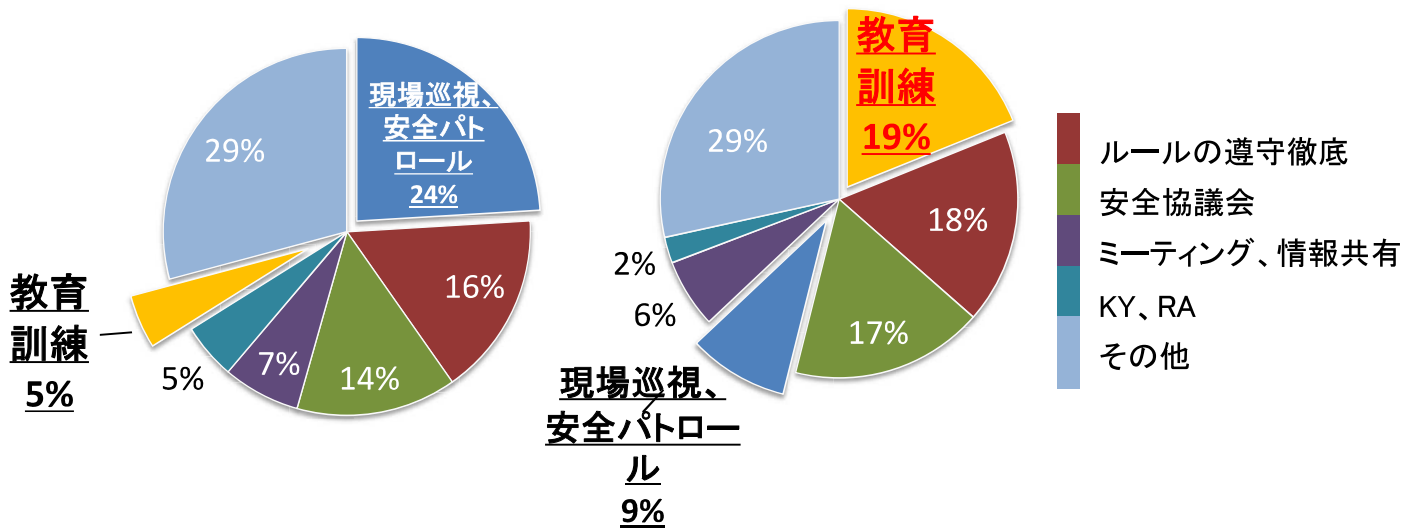
優先順位[1]の割合



安全に工事を行うために重要な要素

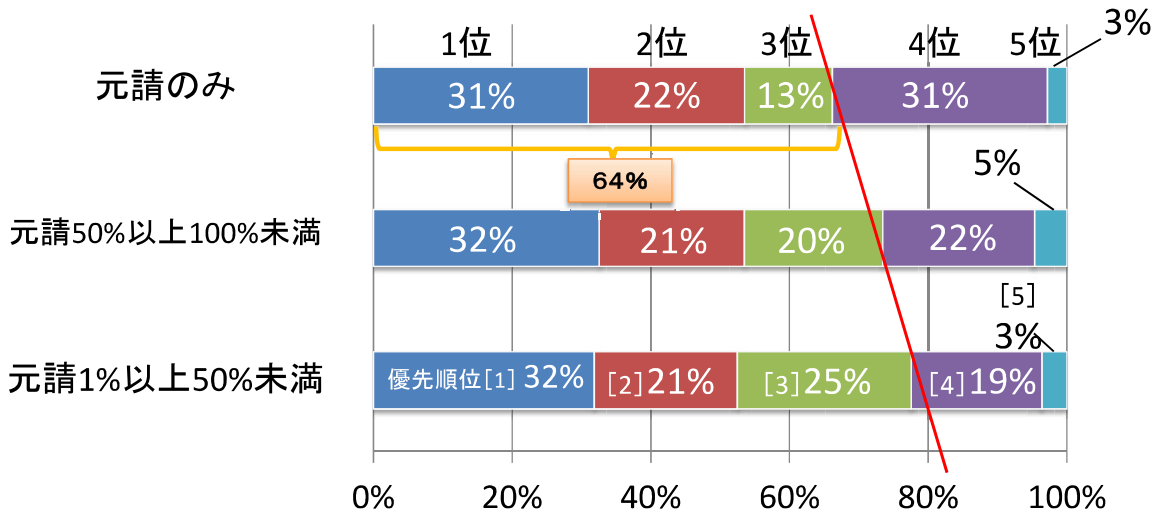
元請として安全に工事を竣工させるために重要な要素

下請として安全に作業するために元請に求める重要な要素



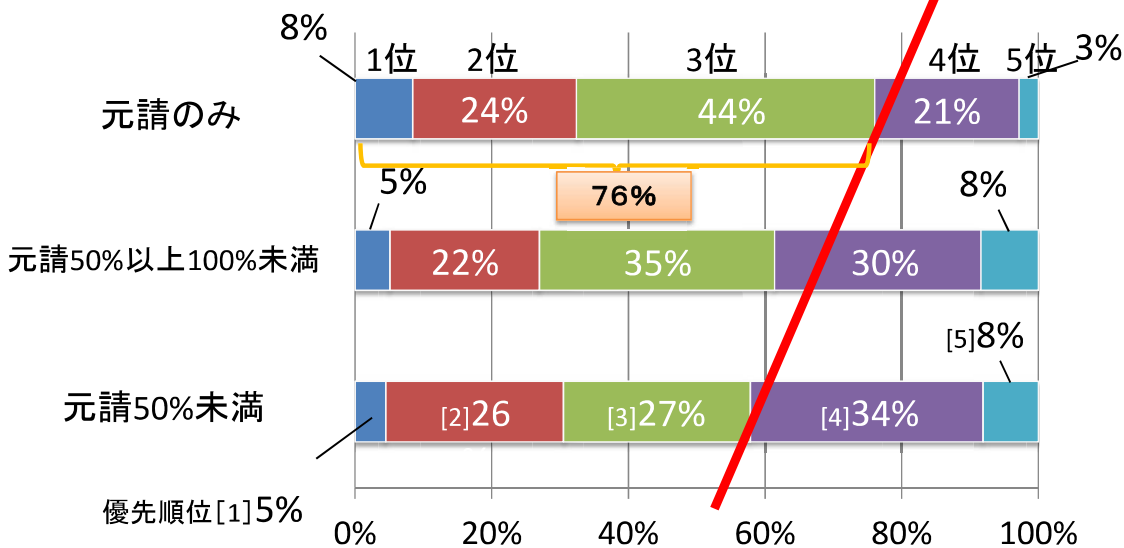
元請としては「現場巡視・安全パトロール」を重視
下請としては「教育・訓練」を重視
⇒ 元請と下請の間に認識のズレ

安全管理の優先順位



元請施工の割合が高くなるほど安全管理を最優先としない傾向

品質管理の優先順位



元請施工の割合が高くなるほど品質管理を優先する傾向